

一六〇号 四八

昭和二十九年十二月二十五日

吳 復部長 敬

舞 復部長

浮島丸関係 朝鮮人遺骨

の輸送について

ナニに電話で連絡し、まことより来月上中旬の砌 首題遺骨を海路

貴部に輸送することになり、またから左記御含みの上 受入準備方

然るべく御手配を願います

禮

記

一 遺骨柱数

五三四

二 形状

(1) 15x15x18の骨箱(内地用)に紙骨あり

(2) 骨柱には覆なく自木のまゝなり

舞 地 復

三 輸送 月日

(3) 箱には人名記入しあらず  
(4) 別に死没者名簿及遺留を添付す

海上保安庁当局と打合せ中「なるも」月十日頃

舞鶴出港の予定（呉へ直航）

四 船 名

八管本部所屬巡視船「つばき」の予定

五 輸送 掌領者

池田庶務課長 吉村 務官 小山 務官

六 雑 件

1. 行勅 船名等決定次第通知す

2. 上陸 棧橋造（重艇車）（又はトラス）及此作業員

数名派遣すべし

3. 貴部は於ては当分の間関所の向以外には秘級

とされた

（終）